

平成 27 年度 大阪府立河南高等学校 第 2 回学校協議会 報告

〔 日 時 平成 27 年 10 月 28 日 (水) 15:00～  
場 所 本校校長室 〕

1 校長挨拶

2 議事

(1)現状報告と(2)質疑応答並びに学校への提言 (◎印：委員、○印：学校、△印：自治会生徒)

① 授業アンケート報告 (教頭)

- 6月に実施した。評価の平均値は上昇傾向にある。
- ◎平均は平均に過ぎない。平均以下の教員(30人)の底上げはもとより、評価の高い教員(平均以上42人)をさらに引き上げることが大事。
- ◎先生方はアンケート結果を生徒にどう返しているか。
- 教員はコメント欄の内容については授業の中で生徒に返している。
- 管理職が授業見学し、授業アンケート結果も参考にしながら改善指導を行っている。
- ◎授業アンケートの目的は授業を改善し、個々の教員の力量を高め、教員集団の教育力を高めることにある。結果を教科や学年にフィードバックし、教科や学年でも改善することが大切である。
- ◎学習指導要領が改訂されるに当たり、思考力、判断力を育む授業展開が求められている。
- ◎若い教員を集団の中でみんなで育てていく学校の体制をさらに整えてほしい。

② スタディーサポート結果概要、高校生活と健康意識調査 (教頭)

- 学習時間は学年が進行するにつれ減少するが、3年生では受験もあり、持ち直している。
- ◎時間が増えているだけでは駄目で、学習内容の質の充実が重要である。
- スマートフォンの使用時間が多く、睡眠の質の低下につながっている。
- ◎スマートフォンをどう使うか。使いこなす力をどうつけるかが課題である。
- ◎健康意識調査では学習に苦手意識を持つ生徒が多い。また学習で「理解できない」生徒が3分の1いるが、どう対応しているか。
- サポート講習や数学、英語で習熟度展開授業をしている。また、学習意欲を高めるために、英検全員受験、勉強合宿などの取り組みもしている。

③ 学校説明会一覧 (吉村首席)

- 説明会の参加状況をみると、公立高校への注目度は高い。
- ◎費用面などで追い風ではあるが、油断大敵である。
- ◎来年度の入試制度の変更の影響はあるか。
- アドミッションポリシーや絶対評価の導入により中学校は多忙になっているが、高校では大きな影響はない。
- ◎学区改編での影響はあるか。
- 遠いところでは東大阪、南港から説明会に来る中学生もいる。大阪市への流出はほとんどない。
- 塾まわりもしたが、河南高の取り組みはほとんど知られていない。実績を示すと驚かれる。

④ 自治会生徒との懇談

- ◎スマートフォンについてはどう考えているか。
- △使いすぎると、しなければならぬことができないし、コミュニケーション力もつかない。便利な側面もあるが、ないほうが幸せかもしれない。
- ◎18歳問題は話題になっているか。
- △クラブ内で話をしたことがあり、選挙権以外のお酒や煙草が18歳に引き下げられないのがなぜかわからない、と話している。

3 校長謝辞